

U.S. Indicators

米国 小売の持ち直しが明確化（17年4月小売売上高）

公表日：2017年5月12日（金）

～コア小売の基調はしっかり～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

小売・飲食サービス売上高（Retail and Food Services Sales）

	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連（*1）				非耐久財関連（*2）			
			除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン		
16/04	+0.8	(+2.8)	+0.7	▲0.1	+1.0	+0.8	▲0.9	+1.3	+0.2	+2.8
16/05	+0.3	(+2.2)	+0.4	▲0.4	▲0.3	+0.4	+0.9	+0.6	+0.6	+2.2
16/06	+0.8	(+3.0)	+0.8	+1.1	+0.4	+1.4	▲0.7	+0.7	+0.3	+2.5
16/07	+0.0	(+2.3)	▲0.4	+1.1	+1.8	▲1.1	+0.0	▲0.5	▲0.2	▲2.2
16/08	▲0.1	(+2.1)	▲0.1	▲0.1	▲0.0	▲0.4	+0.2	▲0.2	+0.4	▲1.5
16/09	+1.0	(+3.2)	+0.8	+1.4	+1.7	+2.4	▲2.2	+0.8	+0.1	+3.6
16/10	+0.6	(+4.0)	+0.5	+0.6	+0.7	▲0.7	▲0.5	+0.8	▲0.1	+2.6
16/11	+0.1	(+3.7)	+0.2	▲0.0	▲0.2	▲0.3	▲0.2	▲0.0	+0.1	▲0.5
16/12	+0.9	(+4.0)	+0.3	+2.2	+3.1	▲0.9	▲0.5	+0.6	▲0.1	+3.2
17/01	+0.5	(+5.6)	+1.1	▲0.6	▲1.6	+1.8	+1.4	+0.9	+0.7	+2.2
17/02	▲0.2	(+4.7)	+0.1	▲0.5	▲1.5	+0.4	▲1.3	▲0.1	▲2.6	▲0.0
17/03	+0.1	(+4.8)	+0.3	▲0.5	▲0.5	+1.5	+2.2	+0.4	+1.9	▲0.4
17/04	+0.4	(+4.5)	+0.3	+0.8	+0.7	▲0.5	+1.3	+0.2	▲0.5	+0.2

（注）数字は季調済前月比。但し、（ ）内は前年同月比（未季調）。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

4月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.4%と加速

17年4月の小売・飲食サービス売上高（速報値、季節調整値）は、前月比+0.4%（前月同+0.1%）と市場予想中央値の同+0.6%を下回ったものの、2、3月合計で0.5%上方修正されており、実態は市場予想よりも強い。自動車売上高やガソリンスタンド売上高が増加に転じ、全体が押し上げられた。小売売上高は暖冬や税還付の遅れによって、2月に下振れたが、足元で持ち直しが明確化している。

内訳をみると、家具、食品・飲料、衣料品が減少に転じたうえ、百貨店など一般小売が減少幅を拡大した。一方、自動車・同部品、建設資材、ガソリンスタンド、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売が増加に転じたほか、薬局、通信販売、飲食店が加速した。また、家電は高い伸びを維持した。

4月の小売・飲食サービス売上高では一般小売が最大の押し下げとなった一方、自動車・同部品、通信販売が最大の押し上げ

4月小売売上高の前月比（+0.39%）の寄与度をみると、マイナス寄与の業態は、百貨店を含む一般小売が▲0.06%と最大の押し下げとなった。食品・飲料が▲0.03%、衣料品が▲0.02%、家具が▲0.01%となった。一方、プラス寄与の業態では、自動車・同部品と通信販売がともに+0.15%と最大の押し上げ寄与となった。他では寄与度の大きい順に、建設資材が+0.08%、薬局が+0.05%、飲食店が+0.05%、家電が+0.02%、ガソリンスタンドが+0.01%、スポーツ用品・本・趣味用品が+0.01%と続いた。なお、その他小売りは0.00%。

4月の自動車を除く小売売上高は前月比+0.3%と前月と同率の伸びとなった

また、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.3%と前月と同率の伸びとなり、市場予想中央値の同+0.5%を下回ったが、2、3月合計で0.4%上方改定されていることを考慮すると、市場予想よりも強い内容。家具、食品・飲料、衣料品が減少に転じたうえ、百貨店など一般小売が減少幅を拡大した。一方、建

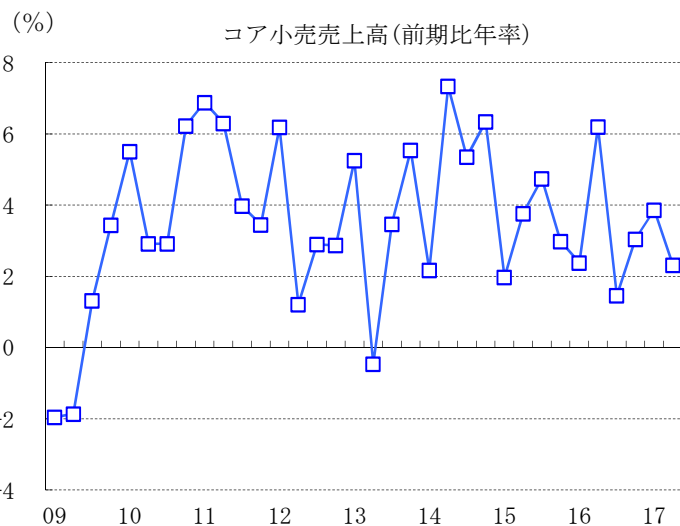
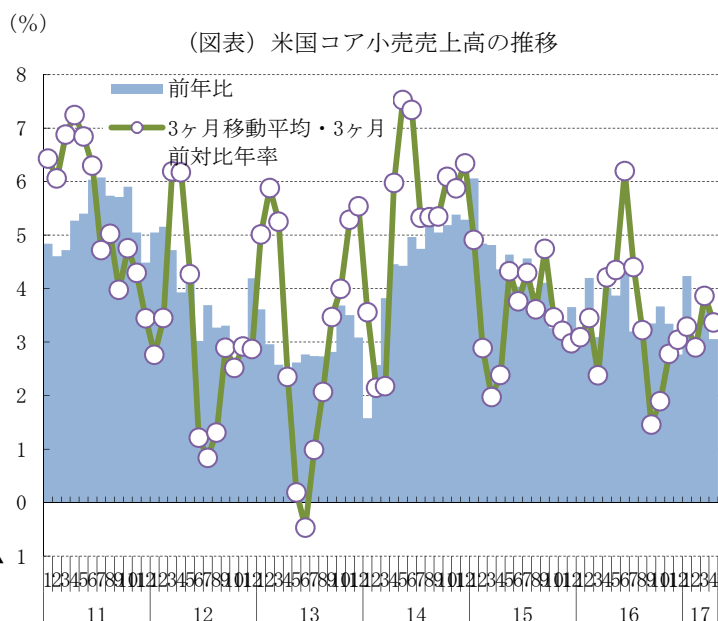
設資材、ガソリンスタンド、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売が増加に転じたほか、薬局、通信販売、飲食店が加速した。また、家電は高い伸びを維持した。

4月のコア小売売上高は、前月比で+0.2%と前期の高い伸びの後で鈍化も、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+3.4%と高い伸び

小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比+0.2%（前月同+0.6%）と減速した（2、3月0.2%上方修正）。スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売が増加に転じたほか、薬局、通信販売、飲食店が加速した。また、家電は高い伸びを維持した。一方、家具、食品・飲料、衣料品が減少に転じたうえ、百貨店など一般小売が減少幅を拡大した。

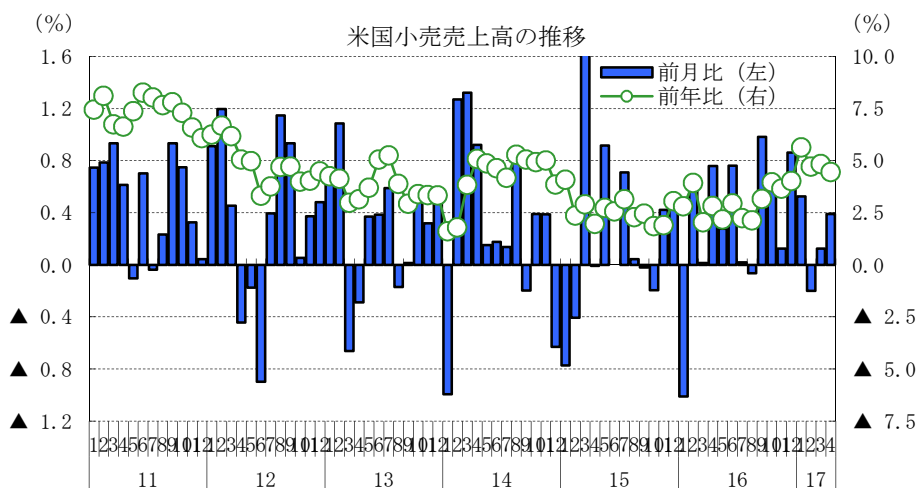
4月のコア小売売上高は、1-3月期比年率+2.3%（1-3月期前期比年率+3.9%）と減速しているが、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+3.4%（前月+3.9%）と高い伸びを維持しており、小売売上高の基調はしっかりしていると判断される。

4月の小売統計は、暖冬や税還付の遅れ等による年初の下振れから小売売上高が持ち直していることを示している。雇用・所得の増加、株等の資産価格の上昇、消費者マインドの改善、企業の販促の強化等に支えられ、コア小売売上高の基調はしっかりしていると判断される。



(出所) 米商務省データより作成。
(注) コア小売=建設資材・ガソリン・自動車を除いた小売売上高（四半期）

(出所) 米商務省



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。